

口頭発表 Talk

1日目 (11月3日 (水)) / Day 1 (Nov. 3, Wed)

1T13m	9:00-11:00 [JP/E]
糖質生物学-I / Glycobiology-I	
Organizers : 相川 京子 (お茶の水女子大学) / Kyoko Aikawa (Ochanomizu University) 木下 タロウ (大阪大学) / Taroh Kinoshita (Osaka University)	
1T13m-01 (P-001)	[9:00]
シアリル化糖鎖を認識する免疫グロブリン可変領域遺伝子の同定 奥田 徹哉 (産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門)	
1T13m-02 (P-003)	[9:10]
Ngly1欠損細胞/個体に蓄積するAsn-GlcNAcの生成経路についての解析 平山 弘人 (理化学研究所 開拓研究本部 鈴木糖鎖代謝生化学研究室 T-CiRA共同プログラム)	
1T13m-03 (P-008)	[9:20]
マトリグリカン欠損ジストログリカンに対する新規モノクローナル抗体の樹立 山崎 郁弥 (千葉大院・薬)	
1T13m-04 (P-014)	[9:30]
METの糖鎖による機能制御メカニズムの解析 高橋 素子 (札幌医科大学医学部・医化学講座)	
1T13m-05 (P-016)	[9:40]
脳内ポリシアル酸発現に遺伝的要因と環境要因(G×E)が及ぼす影響 高橋 佑佳 (名大・生物機能セ / 名大院・生命農)	
1T13m-06 (P-018)	[9:50]
ポリシアル酸転移酵素St8Sia2の脊椎動物種間における性質の違い 村井 良 (名大・生物機能セ / 名大院・生命農)	
1T13m-07 (P-019)	[10:00]
NOTCH1 上のシアリルラクトース様構造の発見 塚本 庸平 (名古屋大学 大学院医学系研究科 分子細胞化学講座)	
1T13m-08 (P-020)	[10:10]
Focal adhesion kinaseのO-GlcNAc修飾による細胞機能の制御 伊左治 知弥 (東北医科薬科大学分子生体膜研究所細胞制御学)	
1T13m-09 (P-021)	[10:20]
O-GlcNAcylation Regulates beta 1,4-GlcNAc-branched N-glycan Biosynthesis Via the OGT/SLC35A3/GnT-IV Axis Wanli Song (Tohoku Medical and Pharmaceutical University Division of Regulatory Glycobiology)	
1T13m-10 (P-038)	[10:30]
胎仔期大脳皮質においてヒアルロン酸/ニューロカン/テネイシンCの三者複合体が形成される 武測 明裕夢 (東京農工大・農)	
1T13m-11 (P-050)	[10:40]
抑制性B細胞共受容体CD22 (Siglec-2)による糖鎖依存的な免疫不全B細胞の機能回復 赤津 ちづる (東京医科歯科大・難治疾患研究所・免疫疾患)	
1T13m-12 (P-052)	[10:50]
リンパ節の高内皮細静脈構造におけるdisialyl-T糖鎖構造の役割 布施谷 清香 (筑波大・医・解剖発生)	

1T14m

9:00-11:00 [JP]

脂質生物学-I / Lipid Biology-I

Organizers : 田中 保 (徳島大学) / Tamotsu Tanaka (Tokushima University)

瀬川 勝盛 (東京医科歯科大学) / Katsumori Segawa (Tokyo Medical and Dental University)

1T14m-01 (P-100)

[9:00]

膜リン脂質の組成制御におけるグルタミン代謝経路の役割の解析

宮本 宗一郎 (京都大学大学院 工学研究科 合成・生物化学専攻)

1T14m-02 (P-108)

[9:10]

B細胞リンパ腫の生存におけるホスファチジルセリンの重要性

近江 純平 (東京大学大学院薬学系研究科衛生化学教室)

1T14m-03 (P-107)

[9:20]

MSイメージングを用いた組織切片上でのリン脂質代謝酵素活性の同時可視化

岩間 大河 (東北大学大学院・薬学研究科・分子細胞生化学分野 / 東京大学大学院・薬学系研究科・衛生化学教室)

1T14m-04 (P-094)

[9:30]

胎児期大脳皮質形成過程におけるアラキドン酸含有ホスファチジルイノシトールの役割

石野 雄己 (東大院薬・衛生化学)

1T14m-05 (P-110)

[9:40]

ゼブラフィッシュを用いたLPLAT10/LPCAT4の生理的意義の解析

大西 浩文 (東京大学大学院薬学系研究科 衛生化学教室)

1T14m-06 (P-106)

[9:50]

ステアリン酸含有リン脂質の培養細胞レベルでの機能解析

小澤 雅也 (東北大院・薬学研究科・分子細胞生化学 / 東京大院・薬学研究科・衛生化学)

1T14m-07 (P-114)

[10:00]

LPLAT7/LPGAT1欠損体における網膜変性機構の解析

川名 裕己 (東京大学大学院薬学系研究科・衛生化学分野 / AMED-LEAP)

1T14m-08 (P-097)

[10:10]

リゾホスファチジルコリンアシル転移酵素1欠損は視細胞ミトコンドリア機能や細胞死に影響する

長田 克之 (国立国際医療研究センター 研究所 脂質シグナリングプロジェクト)

1T14m-09 (P-081)

[10:20]

脂質代謝酵素PNPLA6はコリン代謝を介して網膜恒常性を維持する

小野 喬 (東大・院医・疾患生命工学セ / 東大・眼科)

1T14m-10 (P-109)

[10:30]

中枢神経系におけるPNPLA6およびPNPLA7欠損は筋萎縮を伴う神経変性を生じる

川口 舞 (東京都医学総合研究所 基礎医学科学研究分野 細胞膜研究室 / 東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 健康環境医工学部門)

1T14m-11 (P-086)

[10:40]

脂肪酸 ω -水酸化酵素CYP4F22及びトランスアシラーゼPNPLA1の魚鱗変異による皮膚バリア脂質アシルセラミド産生への影響

野原 知博 (北海道大学大学院薬学研究院)

1T14m-12 (P-087)

[10:50]

ヒト角質層セラミドの長鎖塩基鎖長の多様性

鈴木 まどか (北海道大学・大学院生命科学院)

1T15m

9:00-11:00 [JP]

タンパク質-I / Proteins-I

Organizers : 薬師 寿治 (山口大学) / Toshiharu Yakushi (Yamaguchi University)
伊藤 英晃 (東京大学) / Hideaki Itoh (The University of Tokyo)

1T15m-01 (P-199)

[9:00]

フォトンファクトリー タンパク質結晶構造解析ビームラインが支援する構造生物学研究

山田 悠介 (高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 構造生物学研究センター / 総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科)

1T15m-02 (P-179)

[9:10]

大腸菌由来リボヌクレアーゼHIの金属依存性触媒機構に対する考察

廖 增城 (東京大学 農学生命科学研究科 / 京都府立大学 生命環境科学研究科)

1T15m-03 (P-208)

[9:20]

高度好熱菌 *Thermus thermophilus* HB8 の脂肪酸キナーゼ触媒サブユニット FakA の ATP 結合ドメインの結晶構造解析

中原 駿哉 (大阪市立大学 大学院理学研究科)

1T15m-04 (P-212)

[9:30]

*Trypanosoma brucei*由来GMP reductaseとAMPとの複合体のX線結晶構造解析

竹内 悠真 (大阪府大・院・生命環境)

1T15m-05 (P-177)

[9:40]

クチナーゼ様酵素Cut190変異体の結晶構造と高機能性

恵守 未歩 (京府大・院生環科)

1T15m-06 (P-195)

[9:50]

スプライシングタンパク質U2AF1によるイントロン認識機構のX線結晶構造解析

吉田 尚史 (筑波大学 生体ダイナミクス研究センター / 横浜市立大学 生命医科学研究科)

1T15m-07 (P-186)

[10:00]

ヒトメラトニン受容体シグナル伝達複合体のクライオ電子顕微鏡による単粒子解析

岡本 紘幸 (東京大学大学院 理学系研究科)

1T15m-08 (P-190)

[10:10]

多剤排出トランスポーター P糖タンパク質に結合するコレステロールの構造とその役割

濱口 紀江 (千葉大・理・化)

1T15m-09 (P-201)

[10:20]

クライオ電子顕微鏡による心筋型リアノジン受容体loss-of-function変異体の解析

小川 治夫 (京都大学大学院 薬学研究科)

1T15m-10 (P-207)

[10:30]

スフィンゴシン-1-リン酸受容体におけるバイアスタゴニズム機構

前田 信太郎 (京都大学大学院医学研究科形態形成機構学研究室 / 京都大学大学院医学研究科創薬医学講座)

1T15m-11 (P-194)

[10:40]

パンプレシンV2受容体に対する β アレスチンの結合様式と構造変化

倉本 律輝 (東北大学 大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野)

1T15m-12 (P-197)

[10:50]

低分子量G蛋白質RasのGTP加水分解反応過程におけるヌクレオチド近傍の構造変化

佐伯 菜帆 (神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科)

1T13a

14:50-16:50 [JP/E]

酵素・代謝-I / Enzymes and Metabolism-I

Organizers : 西野 武士 (日本医科大学) / Takeshi Nishino (Nippon Medical School)
 三原 久明 (立命館大学) / Hisaaki Mihara (Ritsumeikan University)

1T13a-01 (P-300) [14:50]

放線菌由来L-メチオニン脱炭酸酵素の結晶構造に基づく反応機構の解析
 大川 敦司 (岡山大院・環境生命)

1T13a-02 (P-302) [15:00]

ヘテロサブユニットの融合による古細菌由来cis-プレニルトランスフェラーゼの解析
 長坂 有紗 (名古屋大学大学院生命農学研究所応用生命科学専攻)

1T13a-03 (P-309) [15:10]

超好熱アーキア*Sulfurisphaera tokodaii*由来ホモセリン脱水素酵素の熱処理による活性化と構造変化
 久保田 達哉 (日本大学大学院生産工学研究科)

1T13a-04 (P-311) [15:20]

酢酸菌の膜結合型アルデヒド脱水素酵素の解体と再構成
 薬師 寿治 (山口大学中高温微生物研究センター / 山口大学大学院創成科学研究科 / 山口大学農学部)

1T13a-05 (P-303) [15:30]

Identification of 3,4-dihydro-2H,6H-pyrimido[1,2-c][1,3]benzothiazin-6-imine derivatives as novel selective inhibitors of *Plasmodium falciparum* dihydroorotate dehydrogenase
 Endah Dwi Hartuti (Program for Nurturing Global Leaders in Tropical and Emerging Communicable Disease, Nagasaki University / Department of Parasitology, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University / Laboratory for Biotechnology, Agency for the Assessment and Application of Technology, Indonesia)

1T13a-06 (P-315) [15:40]

***Geobacter sulfurreducens*におけるポリスルフィド還元へのマルチヘム含有セレンタンパク質の関与**
 浅岡 伸太郎 (立命館大学生命科学部)

1T13a-07 (P-328) [15:50]

***Escherichia coli*におけるビタミンB₆脱リン酸化酵素の同定**
 松尾 ひなの (名古屋大学大学院生命農学研究所)

1T13a-08 (P-332) [16:00]

加齢に伴うSMP30遺伝子発現変化と関連する関連遺伝子Akr1c6の同定と遺伝子欠損マウスを用いたAkr1c6の機能解析
 新村 柚里香 (東京都健康長寿医療センター研究所 分子老化制御 / 芝浦工業大学 システム理工)

1T13a-09 (P-333) [16:10]

微生物における含硫アミノ酸の代謝と外部環境への応答
 山崎 俊介 (味の素株式会社 バイオ・ファイン研究所 / 筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群)

1T13a-10 (P-334) [16:20]

超好熱菌*Thermotoga maritima*における多機能型アセチルオルニチンアミノトランスフェラーゼの同定及び機能解析
 宮本 哲也 (北里大学・薬学部)

1T13a-11 (P-336) [16:30]

プリン*de novo*合成経路に対するポリアミンの影響
 杉山 友里奈 (千葉大学大学院薬学研究院)

1T13a-12 (P-337) [16:40]

超好熱菌が有する特殊構造ポリアミンの生物学的機能
 尾崎 守 (関西学院大学大学院・理工)

1T14a

14:50-16:50 [JP]

細胞の構造と機能-I / Cell Structure and Function-I

Organizers : 山田 雅己 (福井大学) / Masami Yamada (University of Fukui)
浅野 真司 (立命館大学) / Shinji Asano (Ritsumeikan University)

1T14a-01 (P-441) [14:50]

ショウジョウバエ視細胞を用いた極性輸送におけるnSybの機能解析
山下 愛美 (広島大学大学院統合生命科学研究科)

1T14a-02 (P-414) [15:00]

上皮細胞から分泌される多様なエクソソームの形成機構の解明
松井 貴英 (東北大学 大学院生命科学研究科 膜輸送機構解析分野)

1T14a-03 (P-449) [15:10]

Rab GTPaseの細胞内活性化レベルを検出する新しい手法の確立
長野 真 (東京理科大学・先進工学部・生命システム工学科)

1T14a-04 (P-389) [15:20]

Rac1/PAK1シグナルの活性化は腎糸球体上皮細胞の突起形成を阻害する
斉藤 康二 (北里大学理学部生物科学科細胞生物学講座)

1T14a-05 (P-399) [15:30]

エンドサイトーシスにおける協調的なアクチン重合機構の解析
宮野 慶子 (東京理大・先進工・生命工)

1T14a-06 (P-387) [15:40]

細胞外Ca²⁺流入によるマクロピノサイトーシス阻害
栗山 理志 (京都大学化学研究所)

1T14a-07 (P-396) [15:50]

リン脂質フリッパーゼATP11Cの極性局在のメカニズム
申 恵媛 (京都大学大学院薬学研究科)

1T14a-08 (P-431) [16:00]

肺多線毛上皮での線毛運動調節におけるEzrinの役割の検討
川口 高德 (立命館大学薬学部)

1T14a-09 (P-451) [16:10]

ペルオキシソームを介した繊毛へのコレステロール輸送機構
宮本 達雄 (広島大学 原爆放射線医学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野)

1T14a-10 (P-421) [16:20]

ヒト鼻粘膜、気管支初代培養細胞におけるアンジオテンシン変換酵素ACE2の発現についての研究
安岡 加紗音 (立命館大学薬学部・分子生理学研究室)

1T14a-11 (P-392) [16:30]

ダイニン2複合体中間鎖鎖DYNCL1の変異に起因する繊毛病の分子基盤
邱 瀚田 (京都大学薬学研究科生体情報制御学分野)

1T14a-12 (P-427) [16:40]

ゲノム編集を用いた新しい繊毛病モデルマウスの作出とその分子病態メカニズムの解明
堤 峻太郎 (大阪大学 蛋白質研究所 分子発生学研究室)

1T15a

14:50-16:50 [JP]

シグナル伝達-I / Signal Transduction-I

Organizers : 神沼 修 (広島大学) / Osamu Kaminuma (Hiroshima University)
芦高 恵美子 (大阪工業大学) / Emiko Ashitaka (Osaka Institute of Technology)

1T15a-01 (P-569) [14:50]

IL-1受容体経路因子であるヒトIRAK1はNFκB経路とβ-カテニン経路の同時活性化に関与する
日笠 弘基 (産業医科大学 生化学)

1T15a-02 (P-595)	[15:00]
自己免疫疾患関連因子VGLL3によるNF-κB経路活性化	
堀 直人 (千葉大・院薬・分子心血管薬理学)	
1T15a-03 (P-556)	[15:10]
ストレス応答キナーゼp38とMK2を介したRSK-EphA2経路の活性化	
周 越 (富山大学 大学院医学薬学研究部(薬学) がん細胞生物学研究室)	
1T15a-04 (P-558)	[15:20]
ユビキチン化修飾を介したストレス応答性STK11/LKB1-AMPK経路の新たな制御機構	
黒川 礼温 (東北大・院薬・衛生化学)	
1T15a-05 (P-591)	[15:30]
新規フェロトシス抑制因子Makorin ring finger protein 1 (MKRN1) の同定	
山田 真佑花 (東北大・院薬・衛生化学)	
1T15a-06 (P-557)	[15:40]
アナログ感受性キナーゼを利用したHippo経路の動態解析	
大田 雄大 (熊本大学 大学院生命科学研究所 シグナル・代謝医学講座)	
1T15a-07 (P-590)	[15:50]
インスリン受容体基質-1欠損ラットは成長障害とインスリン抵抗性を示す	
豊島 由香 (お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション研究所 / 日本医科大学先端医学研究所生体機能制御学部門)	
1T15a-08 (P-589)	[16:00]
破骨細胞の分化後期特異的シグナル経路の同定とその制御法の確立	
安西 聖敬 (同志社大学大学院 生命医学研究科 分子生命化学研究室)	
1T15a-09 (P-563)	[16:10]
CaMKK基質認識におけるArg/Pro領域(RP-domain)の役割	
兼重 陸 (岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科 細胞機能設計学研究室)	
1T15a-10 (P-600)	[16:20]
DA-Rafは細胞膜と活性化Rasに結合することによりRas-ERK経路の全体的抑制因子として機能する	
高野 和儀 (千葉大・院・理・生物)	
1T15a-11 (P-587)	[16:30]
細胞運動の調節に関わるELMO1-DOCK5-Rac1複合体のクライオ電子顕微鏡構造	
新野 睦子 (理化学研究所生命機能科学研究センター)	

1T13e

17:00-19:00 [JP/E]

新領域・新技術-1 / Frontier Sciences and Technology-I

Organizers: 安田 純 (宮城県立がんセンター) / Jun Yasuda (Miyagi Cancer Center)
 末次 志郎 (奈良先端科学技術大学院大学) /
 Shiro Suetsugu (Nara Institute of Science and Technology)

1T13e-01 (P-717)	[17:00]
Potentially translated sequences determine protein-coding potential of RNAs in cellular organisms	
Yusuke Suenaga (Department of Molecular Carcinogenesis, Chiba Cancer Centre Research Institute)	
1T13e-02 (P-674)	[17:10]
アミノ酸トランスポーター LAT1阻害薬JPH203による胆道がん細胞増殖抑制機構に関わるプロテオミクスおよびリン酸化プロテオミクス解析	
岡西 広樹 (大阪大学 大学院医学系研究科)	
1T13e-03 (P-671)	[17:20]
質量分析を応用したメチル化タンパク質のシームレスな探索法の開発	
加香 孝一郎 (筑波大・生命環境)	
1T13e-04 (P-680)	[17:30]
NanoBiT-BRET法によるGPCRシグナル複合体解析	
川上 耕季 (東北大・院薬・分子細胞生化学)	

1T13e-05 (P-682)	[17:40]
細胞内アダプタータンパク質の一分子動態計測によるインテグリンLFA-1活性化機構の解明	
近藤 直幸 (関西医科大学 附属生命医学研究所 分子遺伝学部門)	
1T13e-06 (P-679)	[17:50]
蛍光免疫センサーブローブCoiled Q-probeを用いた各種低分子の検出と, FRET型ブローブへの展開	
笹本 佳那 (東工大・生命理工学院)	
1T13e-07 (P-701)	[18:00]
ショウジョウバエの食餌制限によるグリア貪食能低下に寄与する食餌因子の探索	
山城 梨沙 (名古屋市立大学大学院 薬学研究所 加齢病態制御学講座 / 国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 神経遺伝学研究部)	
1T13e-08 (P-711)	[18:10]
グロビンペプチドはUCP1発現増加を介して内臓脂肪蓄積を抑制する	
臧 黎清 (三重大学大学院地域イノベーション学研究所)	
1T13e-09 (P-715)	[18:20]
メトホルミンのUCA1誘導および軟骨細胞分化促進作用	
近藤 星 (岡山大・院医歯薬・口腔生化 / 岡山大・院医歯薬・顎口腔再建外科)	
1T13e-10 (P-693)	[18:30]
こんにやく芋由来セラミド (kCer)の正常ヒト表皮角化細胞におけるセマフォリン3Aの発現誘導メカニズム	
藤田 未麗 (順天堂大学大学院医学系研究科環境医学研究所、順天堂かゆみ研究センター (JIRC))	
1T13e-11 (P-697)	[18:40]
リュウキュウマツ葉抽出物の機能性評価	
村山 裕子 (沖縄工業高等専門学校)	
1T13e-12 (P-707)	[18:50]
食用昆虫としてのセミに注目した免疫賦活作用	
尾崎 知美 (山口大学大学院創成科学研究科農学系専攻生命科学コース)	
<hr/>	
1T14e	17:00-19:00 [JP]
疾患生物学-I / Biology of Diseases-I	
Organizers : 山本 靖彦 (金沢大学) / Yasuhiko Yamamoto (Kanazawa University) 安永 晋一郎 (福岡大学) / Shinichiro Yasunaga (Fukuoka University)	
1T14e-01 (P-772)	[17:00]
上皮細胞はMHC class IとAltrの相互作用を介した細胞競合によりがん変異細胞を排除する	
鮎川 志優 (早稲田大学大学院先進理工学研究所)	
1T14e-02 (P-735)	[17:10]
神経膠芽腫細胞におけるフェロトーシスの制御	
石丸 由姫 (京都大学大学院薬学研究所)	
1T14e-03 (P-739)	[17:20]
癌進展を加速させる炎症駆動型直鎖状ユビキチン修飾機構	
佐々木 克博 (京都大学大学院 医学研究所 細胞機能制御学)	
1T14e-04 (P-749)	[17:30]
細胞分裂異常の誘導を介したv-Srcの形質転換機構	
中山 祐治 (京都薬科大学)	
1T14e-05 (P-750)	[17:40]
がん微小環境におけるがん原遺伝子Src活性化意義の解明	
富嶋 佳乃 (大阪大学 微生物病研究所 発癌制御研究分野)	
1T14e-06 (P-744)	[17:50]
膵がん・食道扁平上皮がんにおけるDKK1とFOXM1のポジティブフィードバック発現制御を介した腫瘍増殖促進メカニズムの解析	
佐田 遼太 (大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学講座)	

1T14e-07 (P-767)	【18:00】
Wnt標的遺伝子GREB1の組織特異的発現制御と肝細胞がんの増殖制御機構	
松本 真司 (大阪大院・医・分子病態生化学)	
1T14e-08 (P-756)	【18:10】
MMP-7が誘導するがん細胞凝集機構におけるマトリプターゼ活性の寄与	
富永 明里 (横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻)	
1T14e-09 (P-764)	【18:20】
ケモカイン受容体CCR3の阻害によるがん悪性化機構の解明	
海堀 祐一郎 (姫路獨協大 薬学部 衛生化学研究室)	
1T14e-10 (P-809)	【18:30】
肝臓がんにおけるグルカゴン応答性メチル化酵素SetXの役割の解析	
満島 勝 (国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部)	
1T14e-11 (P-800)	【18:40】
非アルコール性脂肪肝炎関連肝がんの発症・進展に対する抗糖尿病薬の効果；短期間で発症する新たな動物モデルを用いたSGLT2阻害薬の薬効評価	
吉岡 直輝 (名古屋大学環境医学研究所分子代謝医学分野 / 名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学)	

1T15e

17:00-19:00 [JP]

先端医療イノベーション-I / Medical Innovation-I

Organizers : 伊東 祐二 (鹿児島大学) / Yuji Ito (Kagoshima University)

た藤 晃一 (自然科学研究機構) / Koichi Kato (National Institutes of Natural Sciences)

1T15e-01 (P-946)	【17:00】
新規アミノシクロプロペノン化合物はBRD4依存的なNUP210の発現を阻害し、がん細胞の増殖を抑制する	
近藤 寛弥 (金沢大学大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻)	
1T15e-02 (P-952)	【17:10】
グリチルリチン誘導体によるPGRMC1を標的とした癌細胞増殖の抑制機構の解明	
小池 一康 (慶應義塾大学医学部医化学教室)	
1T15e-03 (P-939)	【17:20】
細胞内APPIに結合しAβ産生を強力に抑制する多価型ペプチドの同定	
佐藤 和佳 (同志社大院 生命医科 分子生命化学)	
1T15e-04 (P-948)	【17:30】
短鎖エラスチン由来ペプチド(FPGVG)nの多量体化による温度応答性を有する機能性分子素材の開発	
栗山 慶太郎 (九州大学基幹教育院)	
1T15e-05 (P-949)	【17:40】
ポリカチオン修飾した抗生物質ダブトマイシンの細胞膜透過性と生体活性の評価	
小倉 知也 (福井県立大学大学院生物資源学研究科)	
1T15e-06 (P-974)	【17:50】
膵臓がん標的ペプチド付加タンパク質カプセルを用いた難水溶性抗癌剤paclitaxelに対するドラッグデリバリーシステムの開発	
阿部 国吉 (大阪府大・院・生命環境)	
1T15e-07 (P-975)	【18:00】
サポニン毒素を基盤とした細胞膜透過ペプチドの開発と薬物送達評価	
小吹 桃子 (大阪府大学大学院 理学系研究科)	
1T15e-08 (P-944)	【18:10】
腫瘍血管新生因子Biglycanを標的とした阻害剤探索系の構築	
石井 豪 (愛媛大学・PROS)	
1T15e-09 (P-957)	【18:20】
膵がんを標的としたコアフコース欠損型がん特異的抗ポドカリキシン抗体の開発	
金子 美華 (東北大・院医・抗体創薬)	

1T15e-10 (P-958)	【18:30】
新規抗EpCAM抗体 (EpMab-16)の大腸がんに対する抗腫瘍活性の評価	
細野 ヒデキ (東北大・院医・抗体創薬)	
1T15e-11 (P-962)	【18:40】
細胞外ATPにより活性化される抗CD137アゴニスト抗体STA551の腫瘍特異的反応のメカニズム	
黒井 春香 (中外製薬株式会社)	
1T15e-12 (P-965)	【18:50】
Gタンパク質共役受容体(GPCR)に対する天然構造認識モノクローナル抗体の作製	
磯崎 勇志 (三重大学・大学院工学研究科・分子生物学研究室)	

口頭発表 Talk

2日目 (11月4日 (木)) / Day 2 (Nov. 4, Thu)

2T13m

9:00-11:00 [JP/E]

糖質生物学-II / Glycobiology-II

Organizers : 山田 修平 (名城大学) / Shuhei Yamada (Meijo University)
佐藤 ちひろ (名古屋大学) / Chiro Sato (Nagoya Univ.)

2T13m-01 (P-063)

[9:00]

真核生物のグリセロールリン酸修飾に必要なCDP-グリセロールを合成する酵素の同定
梅澤 美美子 (名古屋市大薬 / 自然科学研生命創成探究センター)

2T13m-02 (P-054)

[9:10]

FUT8の多量体形成と安定性へのstem領域の寄与
富田 晟太 (岐阜大学大学院 自然科学技術研究科)

2T13m-03 (P-064)

[9:20]

糖転移酵素GnT-VIに特異的な非触媒ドメインを介した糖タンパク質基質認識機構
大須賀 玲奈 (岐阜大学大学院 自然科学技術研究科)

2T13m-04 (P-066)

[9:30]

転写因子MZFF1のヒト β 4-ガラクトース転移酵素6遺伝子の転写への関与
高橋 大地 (長岡技科大院・糖鎖生命工学)

2T13m-05 (P-079)

[9:40]

トリプルネガティブ乳がんにおけるNGLY1の役割

藤平 陽彦 (理化学研究所 開拓研究本部 鈴木糖鎖代謝生化学研究室 / 順天堂大学大学院 医学研究科 難病の診断と治療研究センター 糖鎖創薬研究室)

2T13m-06 (P-070)

[9:50]

肺腺癌における形質膜シリアダーゼNEU3によるEGFRシグナリング活性化とその生理的意義

山本 晃司 (埼玉医大・保健医療)

2T13m-07 (P-073)

[10:00]

Biological significance of the polysialyltransferase ST8Sia2 in medaka, *Oryzias latipes*

Poh Ling Tan (Biosci. Biotech. Center, Nagoya Univ / Grad. Sch. Bioagr. Sci., Nagoya Univ.)

2T13m-08 (P-069)

[10:10]

α 2,6-シリアル酸転移酵素遺伝子のノックアウトメダカの表現型と糖鎖構造解析

大本 敬之 (名大院・生命農学 / 名大・生物機能セ)

2T13m-09 (P-026)

[10:20]

SARS-CoV-2 S1 タンパク質の脂質ラフトを介した細胞内取り込み

小松谷 啓介 (東京都医学総合研究所・細胞膜)

2T13m-10 (P-028)

[10:30]

病原性抗酸菌がヒト好中球のファゴソームにおけるスフィンゴ脂質代謝へ与える影響について

中山 仁志 (順天堂大学医療看護学部 / 順天堂大学大学院医療看護学研究科感染制御看護学分野 / 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所)

2T13m-11 (P-029)

[10:40]

炎症性腸疾患におけるグルコシルセラミドの機能解析

小室 茉莉子 (麻布大学 獣医学部 生化学研究室)

2T13m-12 (P-033)

[10:50]

1型と2型糖尿病性腎症における腎スフィンゴ糖脂質発現変化の比較

新田 昂大 (東北医科薬科大学 薬学部 分子生体膜研究所 機能病態分子学教室)

脂質生物学-II / Lipid Biology-II

Organizers : 杉本 博之 (獨協医科大学) / Hiroyuki Sugimoto (Dokkyo Medical University School of Medicine)
上田 夏生 (香川大学) / Natsuo Ueda (Kagawa University)

2T14m-01 (P-115) [9:00]

スフィンゴミエリン合成酵素関連タンパク質は新タイプの哺乳類ホスホリパーゼCである

村上 千明 (東京大学大学院 薬学系研究科 衛生化学教室 / 千葉大学大学院 融合理工学府 先進理化学専攻 化学コース)

2T14m-02 (P-137) [9:10]

E3ユビキチン-タンパク質リガーゼPraja-1のN末端領域とC末端領域はそれぞれ多価不飽和脂肪酸含有PAとジアシルグリセロールキナーゼ δ と相互作用する

沼上 雄紀 (千葉大・院・融合理工・化)

2T14m-03 (P-139) [9:20]

Involvement of γ isoform of cPLA₂ in the biosynthesis of *N*-acylethanolamine

Yiman Guo (Department of Biochemistry, Kagawa University School of Medicine / Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Faculty of Medicine, Kagawa University)

2T14m-04 (P-168) [9:30]

XIIA型分泌性ホスホリパーゼA₂はTh17細胞の誘導を介して乾癬を増悪する

望月 芽可 (東大・院医・疾患生命工学セ)

2T14m-05 (P-136) [9:40]

B細胞免疫応答におけるリゾホスファチジン酸受容体LPA6の機能解析

上田 啓人 (東京大学大学院薬学研究科・衛生化学)

2T14m-06 (P-143) [9:50]

抗腫瘍免疫におけるLPS_iの役割

西角 駿 (東京大学院 衛生化学教室)

2T14m-07 (P-125) [10:00]

局所型アレルギー病態における血小板活性化因子の動態解析

鈴木 知之 (国立国際医療研究センター研究所 脂質シグナリングプロジェクト)

2T14m-08 (P-148) [10:10]

脂肪酸代謝酵素12/15-LOXによる好酸球性気道炎症の抑制機構の解析

保坂 拓郎 (慶大院薬・代謝生理科学 / 理研 IMS・メタボローム)

2T14m-09 (P-147) [10:20]

マクロファージの死細胞貪食における脂肪酸代謝酵素12/15-Lipoxygenaseの機能解析

Kaiyuan Deng (慶大院薬・代謝生理化学 / 理研 IMS・メタボローム研究チーム)

2T14m-10 (P-146) [10:30]

Cox-1・Cox-2による胚着床機構の解明

藍川 志津 (東京大学・院医・産婦人科科学)

2T14m-11 (P-129) [10:40]

高 ω 3脂肪酸食がマウス分娩誘導に与える影響の解析

牧野 風紗 (熊大院・薬・薬学生化学)

2T14m-12 (P-119) [10:50]

LTB₄-BLT1軸による糸球体腎炎の病態制御機構の解明と治療への応用

塩田 遼太郎 (順天堂大学 生化学第一講座 / 順天堂大学 腎臓内科学講座)

タンパク質-II / Proteins-II

Organizers: 植田 正 (九州大学大学院薬学研究院) /
Tadashi Ueda (Graduate School of Pharmaceutical Sciences)
向井 秀仁 (長浜バイオ大学大学院) /
Hidehito Mukai (Nagahama Institute of Bio-Science and Technology)

- | | |
|--|----------------|
| 2T15m-01 (P-215) | [9:00] |
| siRNAスクリーニングによる新規ヒスチジンメチル基転移酵素の探索 | |
| 染谷 百香 (筑波大学生物資源科学学位プログラム) | |
| 2T15m-02 (P-216) | [9:10] |
| 線虫の新規ヒスチジンメチル化酵素METL-18の自己メチル化と生物学的意義の解析 | |
| 春木 陽香理 (筑波大学生物資源科学学位プログラム) | |
| 2T15m-03 (P-219) | [9:20] |
| 線虫を用いたタンパク質アルギニンモノメチル化酵素の同定と機能解析 | |
| 張 文瑜 (筑波大学 生命地球科学研究群 生物資源科学) | |
| 2T15m-04 (P-226) | [9:30] |
| 線虫の精子特異的タンパク質におけるアルギニンメチル化制御機構の解析 | |
| 田島 達也 (筑波大・生存ダイナミクス研究センター) | |
| 2T15m-05 (P-234) | [9:40] |
| 酸化修飾タンパク質による自然免疫活性化機構の解明 | |
| 備前 知風優 (東京大学大学院 農学生命科学研究科) | |
| 2T15m-06 (P-238) | [9:50] |
| 糖鎖受容体による細胞内タンパク質のリン酸化制御 --神経軸索の挙動決定機構の解明を目指して-- | |
| 鈴木 佑治 (名古屋大学大学院医学系研究科 分子生物学分野) | |
| 2T15m-07 (P-269) | [10:00] |
| プロテアソーム転写誘導因子NRF1の分解機構の解析 | |
| 木下 大生 (東京都医学総合研究所 ユビキチンプロジェクト) | |
| 2T15m-08 (P-267) | [10:10] |
| ゲノムワイドCRISPR/Cas9スクリーニングによる小胞体における不良膜タンパク質のリソソーム分解機構の探索 | |
| 早川 怜志 (東京大学 大学院薬学系研究科 細胞情報学教室) | |
| 2T15m-09 (P-268) | [10:20] |
| 選択的リソソーム分解を介した小胞体における膜タンパク質の新たな品質管理機構 | |
| 林 裕輝 (東大・院薬・細胞情報) | |
| 2T15m-10 (P-235) | [10:30] |
| in vivo BioID による脳内USP46タンパク質ネットワークの同定 | |
| 村田 知弥 (筑波大学 医学医療系) | |
| 2T15m-11 (P-265) | [10:40] |
| 新規近接ビオチン化酵素AirIDを用いたタンパク質分解誘導剤依存的なインタクトーム解析技術の開発 | |
| 山中 聡士 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 無細胞生命科学部門) | |
| 2T15m-12 (P-266) | [10:50] |
| 造血管型プロスタグランジンD合成酵素を標的とした選択的タンパク質分解誘導剤の開発 | |
| 柴田 識人 (国立医薬品食品衛生研究所・生化学部) | |

2T13a

14:50-16:50 [JP]

細胞応答-I / Cellular Response-I

Organizers : 仁科 博史 (東京医科歯科大学) / Hiroshi Nishina (Tokyo Medical and Dental University)
酒井 寿郎 (東北大学 / 東京大学) / Juro Sakai (Tohoku University / The University of Tokyo)

2T13a-01 (P-469) [14:50]

出芽酵母におけるオートファジーによるグリコーゲンの取り込み

磯田 隆宏 (東京工業大学科学技術創成研究院細胞制御工学研究センター / 東京工業大学生命理工学院 / ポーラ化成工業株式会社フロンティア研究所)

2T13a-02 (P-468) [15:00]

p62液滴精製による新規選択的オートファジー基質の同定

藤本 佑生 (順天堂大学大学院医学研究科 器官・細胞生理)

2T13a-03 (P-473) [15:10]

選択的オートファジー特異的な哺乳類ATG9小胞リクルートの分子機構

濱 祐太郎 (東大・院医・分子生物)

2T13a-04 (P-479) [15:20]

PACSIN1は基底オートファジー、リソファジーにおけるアンフィソーム・リソソーム間融合に必須である

大江 由佳子 (大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝学)

2T13a-05 (P-507) [15:30]

新規蛍光比率プローブによるミトコンドリアストレスの検出とミトコンドリアストレス誘導化合物の解析

上杉 里瑛 (千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻生物学コース / 現所属: 群馬大学医学系研究科医科学専攻)

2T13a-06 (P-517) [15:40]

脂肪酸による小胞体膜脂質変化とエビゲノム制御をリンクする新規不飽和脂肪酸センサー NPR1の同定

田中 綾乃 (鎌倉女子大学・家政学部)

2T13a-07 (P-516) [15:50]

DNA損傷応答における新たなMDM2-p53制御系の調節機構の解明

島田 竜耶 (東北大・院薬・衛生化学)

2T13a-08 (P-483) [16:00]

p300-mediated acetylation promotes MCL1 stabilization and tumorigenesis

Kouhei Shimizu (Department of Pathobiochemistry, Graduate School of Medicine, Osaka City University)

2T13a-09 (P-487) [16:10]

転写因子BACH1が活性化するフェロトキシ細胞由来抗老化シグナルモデル

西澤 弘成 (東北大学大学院 医学系研究科 生物化学分野)

2T13a-10 (P-492) [16:20]

パータナトス誘導におけるCaspase-3の新たな非典型的機能の関与

濱野 修平 (東北大・院薬・衛生化学)

2T13a-11 (P-488) [16:30]

酸化ステロールはINSIGを介してPERK/ATF4経路活性化とそれに伴う細胞死を誘導する

渡邊 雄一 (東大院・農生科・応生化 / 昭和大・薬・生物化学)

2T13a-12 (P-484) [16:40]

細胞競合における "kick-me-out" シグナル、FGF21の発見

小川 基行 (東京大学大学院薬学系研究科細胞情報学教室)

2T14a

14:50-16:50 [JP/E]

細胞周期、発生 / Cell Cycle, Development

Organizers : 瀬尾 美鈴 (京都産業大学) / Misuzu Seo (Kyoto Sangyo University)
徳光 浩 (岡山大学) / Hiroshi Tokumitsu (Okayama University)

2T14a-01 (P-603) [14:50]

体細胞分裂から減数分裂への細胞周期の切り替え

石黒 啓一郎 (熊本大学発生医学研究所)

2T14a-02 (P-604)	【15:00】
がん細胞の増殖優位性獲得過程における染色体不安定性の役割	
家村 顕自 (東北大学 加齢医学研究所 分子腫瘍学研究分野)	
2T14a-03 (P-606)	【15:10】
IGF1R阻害による細胞分裂進行の遅延とAurora B阻害との併用効果	
池田 有紀 (京都薬科大学)	
2T14a-04 (P-607)	【15:20】
小頭症原因遺伝子DONSONによる中心体数制御機構の解析	
松橋 恭平 (東京大学大学院薬学系研究科生理化学教室)	
2T14a-05 (P-609)	【15:30】
THE ROLE OF ADAMTS1 IN MICE EMBRYO DEVELOPMENT	
Gabriel Opoku (Dept. of Medical Technology, Graduate School of Health Science, Okayama University)	
2T14a-06 (P-610)	【15:40】
Disruption of entire Cables2 locus leads to embryonic lethality by diminished Rps21 gene expression and enhanced p53 pathway	
Tra Thi Huong Dinh (Laboratory Animal Resource Center, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba 305-8575, Japan / Transborder Medical Research Center, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, 1-1-1 Tennodai, Tsukuba 305-8575, Japan)	
2T14a-07 (P-611)	【15:50】
一次繊毛を介した骨芽細胞分化における膜裏打ちタンパク質4.1Gの役割	
斎藤 将樹 (東北大学 大学院医学系研究科 分子薬理学分野)	
2T14a-08 (P-612)	【16:00】
大脳腹側に発現する遺伝子の制御ネットワークの解析	
山本 真帆 (奈良先端大・先端科学技術・バイオサイエンス・発生医科学)	
2T14a-09 (P-613)	【16:10】
The role of Fibulin-7 in the maintenance of mouse skin epidermal stem cells	
Erna Raja (International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University)	
2T14a-10 (P-614)	【16:20】
三胚葉を同時に可視化するES細胞の作製	
鈴木 颯 (筑波大学・院生命システム医学専攻実験動物学研究室)	
2T14a-11 (P-615)	【16:30】
LSD1は内皮特異的遺伝子群の発現抑制により造血幹・前駆細胞発生における内皮-造血転換を促進する	
玉置 隼也 (筑波大学分子発生生物学研究室)	
2T14a-12 (P-616)	【16:40】
非ヒト霊長類の1種であるカニクイザル胎盤に由来する栄養膜幹細胞の樹立	
岡村 永一 (滋賀医科大学 動物生命科学研究所)	
<hr/>	
2T15a	14:50-16:50 [JP/E]
遺伝情報・発現-I / Genetic Information and Expression-I	
Organizers: 清水 律子 (東北大学) / Ritsuko Shimizu (Tohoku University) 谷本 啓司 (筑波大学) / Keiji Tanimoto (University of Tsukuba)	
2T15a-01 (P-627)	【14:50】
大腸菌の核様体蛋白質IHFはゲノム複製開始時期において複製開始点oriCと特異的に結合する	
加生 和寿 (九州大学 薬学研究院 分子生物薬学分野)	
2T15a-02 (P-626)	【15:00】
ヌクレオチド除去修復におけるDNA損傷認識を制御するクロマチンダイナミクス	
菅澤 薫 (神戸大学バイオシグナル総合研究センター / 神戸大学大学院理学研究科)	
2T15a-03 (P-630)	【15:10】
炎症シグナルによるグルコース応答性転写因子ChREBPの機能制御メカニズムの解明	
横山 敦 (東北大学大学院医学系研究科、分子内分泌学分野)	

2T15a-04 (P-642)	【15:20】
テザード二量体が明らかにするNrf1-MafGヘテロ二量体のタンパク質恒常性ストレス応答遺伝子の発現制御に対する貢献	
勝岡 史城 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 / 東北大学 未来型医療創成センター / 東北大学 大学院医学系研究科)	
2T15a-05 (P-629)	【15:30】
CDK8によるHSF1-S326のリン酸化は熱ショック応答を促進する	
瀧井 良祐 (山口大学・院医・医化学)	
2T15a-06 (P-636)	【15:40】
マクロファージの炎症応答における細胞外シスチン取り込みの意義の解明	
武田 遥奈 (東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野)	
2T15a-07 (P-666)	【15:50】
mTORC1-independent translational regulation of mammalian cells by methionine adenosyltransferase 2A	
Mahabub Alam (Department of Biochemistry, Tohoku University Graduate School of Medicine)	
2T15a-08 (P-638)	【16:00】
軟骨細胞におけるRFX1を介したCCN3の発現制御機構の解明	
水川 朋美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔生化学分野 / 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野)	
2T15a-09 (P-624)	【16:10】
ヒトアンジオテンシノーゲン外来遺伝子のマウスゲノム挿入部位の同定	
松田 紘奈 (筑波大学 生物資源学類)	
2T15a-10 (P-635)	【16:20】
ヌクレオソーム転写におけるRNAポリメラーゼII-ヌクレオソーム複合体の構造ダイナミクス	
大角 健 (東大・定量研 / 東大・院理・生物科学)	
2T15a-11 (P-623)	【16:30】
老化による紫外線DNA損傷修復の遅延と損傷応答因子ヒストンH2AXリン酸化の関係	
鈴木 崇志 (静岡県立大学大学院食品栄養環境科学研究科)	
2T15a-12 (P-634)	【16:40】
クロマチンの高次構造による転写伸長制御機構の解析	
平野 里奈 (東京大・定量研 / 東京大・院理・生物科学専攻)	

2T13e 17:00-19:00 [JP]

新領域・新技術-II / Frontier Sciences and Technology-II

Organizers : 井倉 毅 (京都大学) / Tsuyoshi Ikura (Kyoto University)
 植田 幸嗣 (がん研究会) / Koji Ueda (Japanese Foundation for Cancer Research)

2T13e-01 (P-700)	【17:00】
ドラッグデリバリーシステムの研究開発と沖縄生物資源の活用	
川満 日向子 (沖縄工業高等専門学校生物資源工学科)	
2T13e-02 (P-706)	【17:10】
レンコンに含まれる抗アレルギー化合物の単離・同定	
水口 博之 (大阪大谷大学薬学部薬理学)	
2T13e-03 (P-698)	【17:20】
尿中カロテノイドの微量分析法の開発と応用	
豊田 晴香 (株式会社ファンケル)	
2T13e-04 (P-691)	【17:30】
Ag/KTFAカチオン化剤を用いたこんにやく遊離セラミド (kCer)のマスイメージングによる検討	
白杵 靖剛 (北海道大学先端生命科学研究院)	
2T13e-05 (P-703)	【17:40】
ウシ乳汁含まれるポリアミン成分と乳牛の健康状態	
陳 芸丹 (関西学院大学大学院 理工学研究科)	

2T13e-06 (P-690)	【17:50】
Effects of Cryptochrome-modulating compounds on circadian behavioral rhythms in zebrafish	
Mui Hida (Institute of Transformative Bio-Molecules, Nagoya University / Division of Biological Sciences, Graduate School of Science, Nagoya University)	
2T13e-07 (P-727)	【18:00】
深層学習を用いた画像変換によるタンパク質局在の予測	
末次 志郎 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス)	
2T13e-08 (P-728)	【18:10】
遺伝子組換えバキュロウイルスを用いた酵素担持粒子の開発	
岩田 典也 (三重大学・大学院工学研究科・分子生物工学研究室)	
2T13e-09 (P-721)	【18:20】
近赤外光によってゲノム上の遺伝子を活性化する光操作ツール	
中嶋 隆浩 (神奈川県立産業技術総合研究所 / 東京大学大学院総合文化研究科)	
2T13e-10 (P-726)	【18:30】
成人T細胞白血病細胞に特異的に結合する一本鎖抗体をキメラ抗原受容体として導入したナチュラルキラー細胞の開発	
立尾 清悟 (鹿児島大学大学院理工学研究科)	
2T13e-11 (P-723)	【18:40】
自己会合型分割体Cre遺伝子組換え酵素を基盤とする改良型化合物誘導性Cre-loxP遺伝子組換え系の開発	
河野 風雲 (東京大学 大学院総合文化研究科)	
2T13e-12 (P-724)	【18:50】
翻訳後修飾を受けた大腸菌内発現組換え蛋白質を調製する方法の開発	
鳥越 秀峰 (東京理科大学)	

2T14e

17:00-19:00 [JP]

疾患生物学-II / Biology of Diseases-II

Organizers : 花田 俊勝 (大分大学) / Toshikatsu Hanada (Oita University)
 武谷 立 (宮崎大学) / Ryu Takeya (University of Miyazaki)

2T14e-01 (P-782)	【17:00】
老化に伴う真皮線維芽細胞の不均一性変化に関する解析	
板井 恵理子 (コーセー研究所)	
2T14e-02 (P-776)	【17:10】
老化とアルツハイマー病モデルショウジョウバエにおける5-アミノレブリン酸の保護的な効果	
野口 まりえ (都立大薬理)	
2T14e-03 (P-799)	【17:20】
ヘム合成系初発酵素5-アミノレブリン酸合成酵素1(ALAS1)遺伝子破壊マウスでの、隣β細胞ミトコンドリア異常によるグルコース刺激インスリン分泌異常	
武田 和也 (山形大医・メディカルサイエンス推進研・遺伝子実験セ / 山形大医大・創薬科学)	
2T14e-04 (P-793)	【17:30】
ジベプチルペプチダーゼIIIが糖尿病性腎臓病を抑制する作用機序	
米野 雅大 (滋賀医科大学 医学部)	
2T14e-05 (P-823)	【17:40】
Leucine-Rich Repeat Kinase 2(LRRK2)の糖代謝における生理的役割	
川上 文貴 (北里大学大学院医療系研究科生体制御生化学)	
2T14e-06 (P-787)	【17:50】
転写因子ChREBPのミトコンドリアのクリステ形成における役割	
崎山 晴彦 (兵庫医科大学・生化学)	
2T14e-07 (P-803)	【18:00】
非アルコール性脂肪肝炎の病態形成におけるβ2アドレナリン受容体の意義の検討	
木村 真一郎 (名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 / 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野)	

2T14e-08 (P-820)	[18:10]
ApoE欠損マウスにおける抗ビロール化タンパク質抗体レパトアの同定	
林 世映 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻)	
2T14e-09 (P-818)	[18:20]
遺伝子発現プロファイリングから探る、心腎連関病態のH3アゴニストによる病態改善メカニズム	
笠井 郁也 (筑波大学フロンティア医科学学位プログラム)	
2T14e-10 (P-813)	[18:30]
亜鉛欠乏刺激下におけるSOD1の新規結合因子からALSの病態分子機構に迫る	
田中 志和 (東京大学大学院 薬学系研究科 細胞情報学教室)	
2T14e-11 (P-815)	[18:40]
難治性筋原線維性ミオパシーの病態メカニズムの解明	
木村 健一 (筑波大学生存ダイナミクス研究センター / Institute of Physiology I, University of Bonn)	
<hr/>	
2T15e	17:00-19:00 [JP/E]
神経科学-I / Neuroscience-I	
Organizers : 榎本 和生 (東京大学) / Emoto Kazuki (The University of Tokyo) 宮田 信吾 (近畿大学) / Shingo Miyata (Kindai University)	
2T15e-01 (P-846)	[17:00]
神経軸索成長における極長鎖脂肪酸産生酵素GPN2の生理的役割	
本多 敦子 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 神経生化学分野 / 新潟大学 医学部 医学科研究推進センター)	
2T15e-02 (P-865)	[17:10]
出生後におけるリーリンタンパク質脳内投与は、リーリン遺伝子の欠損を補えるか?	
石井 圭介 (名古屋市立大学大学院薬学研究科病態生化学分野)	
2T15e-03 (P-852)	[17:20]
脳におけるリン脂質フリッパーゼの機能の解明	
梅村 悠太 (名古屋市立大学大学院 薬学研究科 病態生化学分野)	
2T15e-04 (P-873)	[17:30]
Identification of proteins that interact with catechins, and analysis of its binding affinity	
Ayaka Ikemizu (Department of Genome-based Drug Discovery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University)	
2T15e-05 (P-879)	[17:40]
神経細胞でのミトコンドリア局在異常は翻訳異常とタンパク質蓄積を引き起こす	
真野 叶子 (都立大院理)	
2T15e-06 (P-875)	[17:50]
Analysis of translational control mechanism of the main ORF by the 5'UTR of neuron-specific splice variant of neprilysin gene	
Shiori Iwamoto (Department of Genome-based Drug Discovery, Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki University)	
2T15e-07 (P-867)	[18:00]
E40K変異イヌSOD1タンパク質の種特異的凝集に重要なアミノ酸残基の同定	
橋本 慶 (名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野)	
2T15e-08 (P-860)	[18:10]
オキサリプラチン誘発末梢神経障害に対するゾニサミドの緩和効果—初代培養および株化DRGニューロンを用いた作用機序の検討—	
高久 静香 (東京都医学研 糖尿病性神経PJ)	
2T15e-09 (P-868)	[18:20]
ACAT1選択的阻害剤によるAβ産生抑制メカニズムの解析	
スウ ショウゲツ (同志社大学)	
2T15e-10 (P-871)	[18:30]
活性型TrkBを活用した遺伝子治療による神経保護と軸索再生	
行方 和彦 (東京都医学総合研究所 視覚病態プロジェクト)	

2T15e-11 (P-883)

【18:40】

ADHD関連化学物質の生化学的基盤

石堂 正美 (国立環境研究所)

2T15e-12 (P-866)

【18:50】

importin α 5は統合失調症の環境因子暴露への影響を変動させる

野宮 廣貴 (福井大学医学部)

口頭発表 Talk

3日目 (11月5日 (金)) / Day 3 (Nov. 5, Fri)

3T12m

9:00-11:00 [JP/E]

細胞応答-II / Cellular Response-II

Organizers: 荒木 敏之 (国立精神・神経医療研究センター) /
Toshiyuki Araki (National Center of Neurology and Psychiatry)
依馬 正次 (滋賀医科大学) / Masatsugu Ema (Shiga University of Medical Science)

3T12m-01 (P-464)

[9:00]

アクチンダイナミクスの異常が誘導するシャペロニン (TRiC/CCT) オートファジーの解析

伊達 悠起 (千葉大学大学院融合理工学府生物学コース)

3T12m-02 (P-510)

[9:10]

含セレン抗酸化酵素合成破綻状態の恒常性維持におけるKeap1過酸化水素センサーの重要性の解明

矢口 菜穂子 (東北大学大学院 医学系研究科 医化学分野)

3T12m-03 (P-491)

[9:20]

演題取り下げ

3T12m-04 (P-476)

[9:30]

出芽酵母液胞内リパーゼAtg15はふたつの独立した機能ドメインを有する

鈴木 邦律 (東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻 / 東京大学大学院新領域創成科学研究科附属生命データサイエンスセンター / 東京大学微生物科学イノベーション連携研究機構)

3T12m-05 (P-497)

[9:40]

悪性黒色腫におけるACAT阻害剤の抗がん剤としての応用

岩田 実姫 (同志社大学)

3T12m-06 (P-499)

[9:50]

CPZ耐性腸内細菌がビタミンE低下による脂質酸化依存的心突然死を抑制する

幸村 知子 (北里大薬 / AMED-CREST)

3T12m-07 (P-520)

[10:00]

オートファジー遺伝子による飽和脂肪酸誘導性のIRE1活性化機構の解明

Shunwei Ni (東京大学 薬学系 研究科 衛生化学教室)

3T12m-08 (P-506)

[10:10]

Study on the regulation and biological function of Sp1 in the oxidative stress response pathway

Ferbian M. Siswanto (Department of Biomedical Chemistry, School of Science and Technology, Kwansai Gakuin University)

3T12m-09 (P-471)

[10:20]

プログラニューリンはオートファゴソームとリソソームの融合を促進する

田中 良法 (岡山理大・獣医・生化学)

3T12m-10 (P-467)

[10:30]

細胞外環境における α 2Mを介した熱変性タンパク質分解システムの解析

富張 彩佳 (千葉大学大学院融合理工学府生物学コース)

3T12m-11 (P-526)

[10:40]

Distinct Regulations of HO-1 Gene Expression for Stress Response and Substrate Induction

Anqi Zhang (Departments of Medical Biochemistry, Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan.)

3T12m-12 (P-489)

[10:50]

マウスシュワン細胞 IMS32における25-hydroxycholesterolによるFerroptosis誘導機構の解析

岩垣 あなん (同志社大学生命医科学研究科医生命システム専攻)

脂質生物学-III / Lipid Biology-III

Organizers : 杉本 幸彦 (熊本大学) / Yukihiko Sugimoto (Kumamoto University)
原 俊太郎 (昭和大学) / Shuntaro Hara (Showa University)

3T13m-01 (P-084) [9:00]

腸内細菌に由来する脂質代謝物の包括的リピドミクス解析

富田 衛生 (慶大院薬・代謝生理化学 / 理研 IMS・メタボローム研究チーム)

3T13m-02 (P-166) [9:10]

急速凍結・凍結切断レプリカ標識 (QF-FRL)法を用いた酵母細胞膜におけるPI(4,5)P₂の局在解析による、PI(4,5)P₂生成の制御機構の解明

黒川 夕奈 (鹿児島大学共同獣医学部獣医学科基礎獣医学講座分子細胞生物学教室)

3T13m-03 (P-099) [9:20]

ホスファチジルイノシトール4,5ニリン酸による上皮性制御機構の解析

金丸 佳織 (東京理科大学 理工学部 応用生物科学科)

3T13m-04 (P-154) [9:30]

ORP2はエンドソームにおけるコレステロール/PI(4,5)P₂交換によってLDL-コレステロールの形質膜輸送とFAKの活性化を共役させる

高橋 耕太 (Department of Anatomy and Stem Cells and Metabolism Research Program, Faculty of Medicine, University of Helsinki, Helsinki, Finland / Minerva Foundation Institute for Medical Research, Helsinki, Finland / 千葉大学薬学研究院 免疫微生物学)

3T13m-05 (P-169) [9:40]

血管平滑筋収縮調節におけるクラスII型PI3キナーゼの機能的役割

吉岡 和晃 (金沢大学 医薬保健研究域医学系 血管分子生理学)

3T13m-06 (P-098) [9:50]

リポクオリティの変化が運動トレーニングによる骨格筋カルジオリピン量の増加に関与する

桑原 菜緒 (静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府)

3T13m-07 (P-096) [10:00]

精巢特異的リン脂質 tetrapalmitoyl cardiolipin (TPCL) 合成経路の解析

小川 笑満里 (東京大学大学院・薬学系研究科・衛生化学教室)

3T13m-08 (P-104) [10:10]

非ミトコンドリア型カルジオリピンTPCLの精子形成における作用機構

望月 大 (東大・院薬・衛生化学)

3T13m-09 (P-133) [10:20]

掻痒性皮膚疾患に関与する新規痒み受容体の探索とその機能解析

高木 祐吾 (東京大学大学院薬学系研究科・衛生化学教室)

3T13m-10 (P-164) [10:30]

脂肪酸伸長酵素Elovl6による神経幹細胞の自己複製能制御機構解明

大野 博 (筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科)

3T13m-11 (P-093) [10:40]

CDP-エタノールアミン経路の最終酵素EPT1とCEPT1は異なるエタノールアミンリン脂質分子種の合成に寄与する

堀端 康博 (獨協医科大学医学部生化学)

3T13m-12 (P-161) [10:50]

トランス脂肪酸による細胞老化を介した炎症応答促進作用とその分子機構の解明

蘆田 諒 (東北大・院薬・衛生化学)

タンパク質-III / Proteins-III

Organizers : 湯元 昇 (国立循環器病研究センター) /
Noboru Yumoto (National Cerebral and Cardiovascular Center)
若松 馨 (群馬大学) / Kaori Wakamatsu (Gunma University)

3T14m-01 (P-245) [9:00]

カルシウムイオンによるERp57-CNX複合体の構造機能調節

谷川 雄哉 (関学大・理工)

3T14m-02 (P-253) [9:10]

胎盤形成不全におけるカルネキシン発現抑制と β -hCG発現・分泌抑制機序について

松川 仁登美 (和歌山県立医科大学産科婦人科学教室)

3T14m-03 (P-248) [9:20]

アミロイド核形成に先立つインスリンの由来種に依存した初期凝集メカニズム

柚 佳祐 (神戸大・院理)

3T14m-04 (P-283) [9:30]

アミロイド β 凝集の酵素免疫測定法による評価

小堀 光一 (日本大学大学院生産工学研究科応用分子化学専攻)

3T14m-05 (P-256) [9:40]

線維前駆中間体に作用する α B-クリスタリンのアミロイド線維形成阻害機構

國尾 祐貴 (神戸大学大学院理学研究科)

3T14m-06 (P-284) [9:50]

不飽和脂肪酸によるアミロイド β 凝集体の脱凝集効果の評価

柴崎 友理 (日本大学大学院生産工学研究科応用分子化学専攻)

3T14m-07 (P-213) [10:00]

環状 β アミノ酸を含むペプチドフォルダマーによる血液凝固因子FXIIa阻害の構造基盤

仙石 徹 (横浜市立大学大学院医学研究科)

3T14m-08 (P-247) [10:10]

セルピン病治療薬の標的分子模倣体の創出とその構造解析

品田 紗智子 (大阪府立大・理・生物)

3T14m-09 (P-184) [10:20]

ドラッグデザインのための熱安定型 α 1-アンチトリプシン変異体の創出

勘澤 良介 (大阪府立大・理・生物)

3T14m-10 (P-291) [10:30]

腫瘍標的ペプチドを付加した変異型リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素を用いた難水溶性抗癌剤lapatinibに対する新規薬剤キャリアの機能評価

野口 峻 (大阪府大・院・生命環境)

3T14m-11 (P-171) [10:40]

Co-crystal structure analysis of Ferulenol derivatives in complex with human dihydroorotate dehydrogenase: a therapeutic target for cancer cells living under tumor microenvironment

Mohammed S. O. Tagod (Department of Molecular Infection Dynamics, NEKKEN, Nagasaki University)

3T14m-12 (P-272) [10:50]

尿および血漿プロテオーム解析による腎疾患の鑑別診断に有用なバイオマーカーの探索

尾崎 司 (山形大学 医学部 医学科 生化学・分子生物学講座 / 山形大学 医学部 医学科 公衆衛生学・衛生学講座)

レドックス・エネルギー変換 / Redox and Energy Conversion

Organizers : 赤池 孝章 (東北大学) / Takaaki Akaike (Tohoku University)
 斎藤 芳郎 (東北大学) / Yoshiro Saito (Tohoku University)

3T15m-01 (P-373) [9:00]

造血幹細胞における超硫黄分子の役割

村上 昌平 (東北大学・加齢医学研究所・遺伝子発現制御)

3T15m-02 (P-355) [9:10]

新規アルキル化試薬*N*-iodoacetyl tyrosine methyl esterを用いた超硫黄メタボローム・プロテオーム解析系の構築

笠松 真吾 (大阪府立大院・理・生物科学)

3T15m-03 (P-343) [9:20]

陸上植物の活性酸素種生成酵素NADPHオキシダーゼに共通するリン酸化とCa²⁺結合を介した活性制御機構

橋本 貴史 (東京理科大学・理工・応用生物科学)

3T15m-04 (P-353) [9:30]

活性酸素生成酵素Nox4による内皮細胞遊走の促進機構の解明

宮野 佳 (川崎医科大学)

3T15m-05 (P-341) [9:40]

Aging phenotypes of *Klotho* knockout mice is attenuated by systemic NRF2 activation while exacerbated by NRF2 deficiency

Mingyue Zhao (Tohoku University, Institute of Development, Aging and Cancer, Department of Gene Expression Regulation)

3T15m-06 (P-344) [9:50]

親電子性ストレス暴露履歴モニタリングマウスの樹立

北村 大志 (東北大学 加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野)

3T15m-07 (P-346) [10:00]

ゼブラフィッシュを活用した乳酸菌の抗酸化ストレス作用の研究

渡邊 朝美 (筑波大学 医学医療系 分子発生物学研究室)

3T15m-08 (P-349) [10:10]

低密度リポタンパク質における酸化リン脂質修飾構造の網羅的解析

大塚 優人 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

3T15m-09 (P-363) [10:20]

Streptococcus anginosus F型プロトン輸送ATPaseの酸性環境における役割

關谷 瑞樹 (岩手医科大学薬学部)

3T15m-10 (P-367) [10:30]

F₁F₀-ATP合成酵素のプロトン輸送と共役した回転におけるcサブユニット間の協同性

三留 規誉 (常葉大学教育学部)

3T15m-11 (P-361) [10:40]

Na⁺を結合した非磷酸化状態のNa⁺,K⁺-ATPaseの結晶構造解析

金井 隆太 (東京大学)

3T15m-12 (P-370) [10:50]

寄生原虫トリパノソーマ由来エネルギー代謝因子を用いたミトコンドリア呼吸鎖機能破綻の解析

林下 瑞希 (長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

細胞の構造と機能-II / Cell Structure and Function-II

Organizers : 通山 由美 (姫路獨協大学) / Yumi Tohyama (Himeji Dokkyo University)
五十里 彰 (岐阜薬科大学) / Akira Ikari (Gifu Pharmaceutical University)

3T12a-01 (P-433) [9:00]

再構成実験によるミトコンドリア外膜融合機構の解明

伴 匡人 (久留米大学 分子生命科学研究所)

3T12a-02 (P-432) [9:10]

小分子輸送体ポリリンによるタンパク質膜透過装置TOM複合体の機能制御の分子機構

阪上 春花 (京産大・生命)

3T12a-03 (P-429) [9:20]

ミトコンドリアPEによる細胞機能制御

宮田 暁 (九州大学大学院理学研究院化学部門)

3T12a-04 (P-413) [9:30]

マイトファジーの過程で切断型PGAM5は核に移行しプロテインホスファターゼとして機能する

馬場 大暉 (長崎大・院医歯薬・細胞制御)

3T12a-05 (P-425) [9:40]

リソソーム蓄積症におけるオートファジーの異常及びそのメカニズムに関する研究

田中 裕大 (徳島大学大学院医歯薬学研究部)

3T12a-06 (P-416) [9:50]

リソソームベシクローファジーによるSTING自然免疫シグナルの収束

朽津 芳彦 (東北大院・生命・細胞小器官疾患学)

3T12a-07 (P-417) [10:00]

ESCRT複合体の欠損はcGAS/STING経路に依存した炎症応答を引き起こす

濱野 栞里 (東北大院・生命・細胞小器官疾患学)

3T12a-08 (P-445) [10:10]

GARP欠損による順行性輸送の分子機構の解析

瀧口 新 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

3T12a-09 (P-384) [10:20]

量子ドットナノプローブを用いた細胞膜辺縁でのAmyloid β 凝集過程のReal time imaging

倉賀野 正弘 (室蘭工業大学大学院工学研究科)

3T12a-10 (P-403) [10:30]

小胞体膜タンパク質TMCC3による小胞体の網目状ネットワークの形成調節機構

山本 泰憲 (神戸大学大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 膜動態学分野)

3T12a-11 (P-404) [10:40]

小胞体膜局在転写因子BBF2H7による褐色脂肪細胞の機能制御

齋藤 敦 (広島大学大学院 医系科学研究科 分子細胞情報学)

3T12a-12 (P-411) [10:50]

小胞体膜貫通型転写因子OASISによる核膜ストレス応答機構解明

上川 泰直 (広島大学大学院医系科学研究科分子細胞情報学)

シグナル伝達-II / Signal Transduction-II

Organizers: 西村 理行 (大阪大学) /

Riko Nishimura (Osaka University)

北川 元生 (国際医療福祉大学) /

Motoo Kitagawa (International University of Health and Welfare)

3T13a-01 (P-550)

【14:50】

KLK3 (PSA) 遺伝子座super enhancerへのアンドロゲン受容体 (AR) の標的DNA配列非依存的な会合

澤田 崇広 (公益法人ときわ会先端医学研究センター / 医療創生大学院 生命理工学研究科)

3T13a-02 (P-544)

【15:00】

新規に同定したリラキシン様生殖腺刺激ペプチド(RGP)のC末端アミド化の可能性

三田 雅敏 (昭和大・医・生化学)

3T13a-03 (P-581)

【15:10】

G12共役型デザイナー GPCRを用いたG12シグナルの脂肪肝改善作用の評価とその機構解析

荒井 魁斗 (東北大学 大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野)

3T13a-04 (P-573)

【15:20】

神経膠芽腫細胞におけるアミノ酸欠乏時に発現が変動する遺伝子の解析

松尾 将吾 (京都大学大学院薬学研究科)

3T13a-05 (P-580)

【15:30】

Mitocryptide-3による好中球様細胞活性化におけるG₁₂タンパク質の役割

種村 亮太 (長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 ペプチド科学研究室)

3T13a-06 (P-583)

【15:40】

蛍光検出HPLCを用いた低分子量Gタンパク質活性化状態の高感度測定法の確立とその応用

荒木 信 (明治薬科大学・生化学)

3T13a-07 (P-529)

【15:50】

Cul2結合タンパク質ZSWIM8はC2C12筋芽細胞分化に伴い発現誘導される

奥村 文彦 (福岡女子大学)

3T13a-08 (P-537)

【16:00】

エクソソームによるGタンパク質共役型受容体 (GPCR) の伝達機構

道前 桃花 (岐大院・自然科学技術)

3T13a-09 (P-530)

【16:10】

REMAP法を用いた抗EGFR抗体のエピトープ解析

佐野 雅人 (東北大学大学院 医学系研究科 抗体創薬研究分野)

3T13a-10 (P-543)

【16:20】

近位依存性標識による神経軸索再生阻害受容体PTPσの網羅的基質同定

坂元 一真 (名古屋大学大学院 医学系研究科 生物化学講座 / 名古屋大学糖鎖生命科学コア研究所)

3T13a-11 (P-540)

【16:30】

Protective roles of leukotriene B4 receptor type 2 on pore forming toxin-induced cell membrane damage

Yuan Chi (Department of Biochemistry, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan)

3T13a-12 (P-538)

【16:40】

プロトン感知性受容体TDAG8はマウス脳虚血モデルの脳損傷において抑制的に働く

佐藤 幸市 (群馬大・生体調節研究所)

遺伝情報・発現-II / Genetic Information and Expression-II

Organizers : 五十嵐 和彦 (東北大学) / Kazuhiko Igarashi (Tohoku University)

森口 尚 (東北医科薬科大学) /

Takashi Moriguchi (Tohoku Medical and Pharmaceutical University)

3T14a-01 (P-656) [14:50]

相分離を介して形成されるDBC1核内RNA顆粒の機能解析

萬年 太郎 (立命館大学 生命科学部)

3T14a-02 (P-665) [15:00]

胚発生及び細胞増殖におけるCNOT4ユビキチンリガーゼのmRNA制御作用の解析

山口 智和 (秋田大学大学院医学系研究科 分子機能学・代謝機能学講座)

3T14a-03 (P-659) [15:10]

SRSF7は年齢依存的オルタナティブスプライシングを通じて若年性トランスクリプトームの形成に寄与する

森 雅樹 (国立循環器病研究センター研究所 血管生理学部)

3T14a-04 (P-620) [15:20]

骨芽細胞Runx2は核膜タンパク質発現制御を通じて核形態および骨芽細胞分化を制御する

東 俊文 (東京歯科大学 生化学講座)

3T14a-05 (P-617) [15:30]

p53 regulates the intra-nuclear dynamics of the K27-trimethylation of histone H3

Tsukasa Oikawa (Department of Molecular Biology, Graduate School of Medicine, Hokkaido University)

3T14a-06 (P-657) [15:40]

ポリアミンはG-quadruplexの形成を阻害することでヘパラン硫酸伸長酵素 EXT1の翻訳を促進する

鈴木 雅斗 (東京理大薬)

3T14a-07 (P-663) [15:50]

ミトコンドリアにおける抗生物質依存的な翻訳停滞の解消機構の解明

酒井 舜 (群馬大学大学院 理工学府 分子科学部門)

3T14a-08 (P-660) [16:00]

脊髄小脳変性症原因因子Ataxin-2はPAPD4/PABPC1/DDX6と細胞質ポリA鎖伸長マシナリーを構成する

稲垣 佑都 (名古屋市立大学・院薬・遺伝情報学)

3T14a-09 (P-647) [16:10]

亜鉛欠乏下におけるH3K14ac認識タンパク質の機能解析

竹中 哲 (東京大学 大学院薬学系研究科 細胞情報学教室)

3T14a-10 (P-644) [16:20]

パイオニア転写因子p53によるヌクレオソーム結合機構

西村 正宏 (東大・院理・生物科学 / 東大・定量研)

3T14a-11 (P-646) [16:30]

Mod(mdg4)機能未知Isoformによるテロメア構成レトロトランスポソンの発現制御機構

竹内力 (慶應義塾大学医学部 分子生物学教室)

3T14a-12 (P-618) [16:40]

細胞核内のクロマチン構造ユニットの解析

畠澤 卓 (東大・定量研 / 東大・院理・生物科学)

免疫・感染症-I / Immunity and Infection-I

Organizers : 村上 正晃 (北海道大学) / Masaaki Murakami (Hokkaido University)
小柴 琢己 (福岡大学) / Takumi Koshiba (Fukuoka University)

3T15a-01 (P-894) [14:50]

アルテミシニン耐性に関するマラリア原虫フェレドキシン変異体の機能解析
木股 洋子 (山口大院創成科学 (農学))

3T15a-02 (P-904) [15:00]

医療機器に高度接着する細菌の樹立とその病原性解析
山田 倫暉 (京都薬科大学 細胞生物学分野)

3T15a-03 (P-911) [15:10]

ファージ耐性化による*P. aeruginosa*抗菌薬感受性のトレード・オフ
藤木 純平 (酪農大・獣医・獣医生化学)

3T15a-04 (P-897) [15:20]

SARS-CoV2スパイクタンパク質の経鼻免疫で誘導されるマウス鼻腔粘膜由来IgAモノクローナル抗体取の特異性解析
和氣 健太郎 (富山大学大学院理工学教育部)

3T15a-05 (P-909) [15:30]

SARS-CoV-2スパイクタンパク質受容体結合ドメインとヒトアンギオテンシン変換酵素2の結合は香料および香料組成物で阻害される
山内 明 (川崎医科大学学生化学)

3T15a-06 (P-905) [15:40]

加齢によるインフルエンザワクチンの免疫誘導変化
奈良原 誠大 (デンカ株式会社 五泉事業所 ワクチン・試薬開発部)

3T15a-07 (P-923) [15:50]

抗CD81抗体を発現するSeVdpベクターによる関節リウマチの抑制
山崎 勤 (就実大学 薬学部)

3T15a-08 (P-891) [16:00]

多糖に対する抗体産生のメカニズムの解明
松村 佳奈 (東京医科歯科大学難治疾患研究所免疫疾患)

3T15a-09 (P-931) [16:10]

エイコサペンタエン酸の摂取は形質細胞分化を抑制し、全身性エリテマトーデス病態を改善する
小林 アズサ (名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野 / 名古屋大学大学院医学系研究科 病態内科学講座 腎臓内科学)

3T15a-10 (P-915) [16:20]

M細胞による抗原トランスサイトーシスに関する新規分子の探索
岸本 直樹 (熊本大学薬学部環境分子保健学分野)

3T15a-11 (P-918) [16:30]

炎症性腸疾患におけるシストランスポーター χ CTの機能解析
加藤 伸史 (東北大学 加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野)

3T15a-12 (P-922) [16:40]

腸管炎症惹起機構における生命金属の役割
大島 茂 (東京医科歯科大学消化器内科)